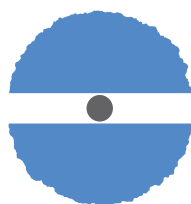


公益財団法人
いわさきちひろ記念事業団
支援会員制度

2024年度 活動報告書



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館（東京・安曇野）

1. 美術館の設置・運営

東京館、安曇野館ともに、固定の曜日を休館日としながらも、繁忙期に無休期間を設けるなどし、開館日数は、コロナ禍前まで回復しました。

■来館者総数

ちひろ美術館・東京： 37,380人(前年比106%)
安曇野ちひろ美術館： 83,796人(前年比105%)
合計：121,176人(前年比105%)

2. 展覧会の開催

ちひろ没後50年の特別展「いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ」の3つのテーマの展覧会を、東京館、安曇野館相互に巡回して開催しました。



特設サイト



あれ これ いのち

【東京館】3月1日～6月16日 ①

【安曇野館】9月7日～12月1日 ②

企画協力：鷺谷いづみ（東京大学名誉教授/生態学、保全生態学）



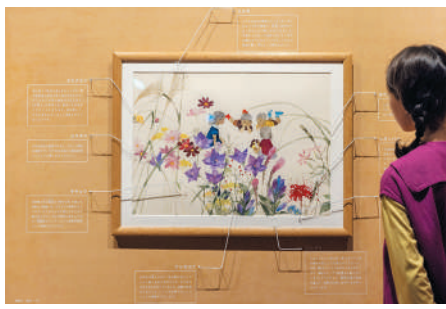
plapla あちこちスケッチ 2024年



plapla あちこちスケッチ 2024年



plapla あちこちスケッチ 2024年



plapla あちこちスケッチ 2024年

あ・そ・ぼ

【安曇野館】3月1日～6月2日 ③

【東京館】6月22日～10月6日 ④

企画協力：森口佑介（京都大学准教授/発達心理学、認知科学）



plapla まどへのらくがき 2024年



plapla まどへのらくがき 2024年



plapla まどへのらくがき 2024年



plapla まどへのらくがき 2024年

みんな なかまよ

【安曇野館】6月8日～9月1日 ⑤

【東京館】10月12日～2025年1月31日 ⑥

企画協力：塩瀬隆之

（京都大学准教授/システム工学、インクルーシブデザイン）



plapla ふたりのベンチ 2024年



plapla ふたりのベンチ 2024年



plapla ふたりのベンチ 2024年



plapla ふたりのベンチ 2024年

支援会員のみなさまへ

ちひろ美術館、(公財) いわさきちひろ記念事業団に、いつもご理解とあたたかなご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

ちひろさんの没後50年の節目となった2024年度は、展覧会のディレクターにアートユニットplapla（プラブラック）を迎え、デジタル技術やワークショップなども取り入れた「いわさきちひろ ぼつご50年 こどものみなさまへ」に、両館ともに取り組むことができました。「あそび」「自然」「平和」の3つのテーマを、科学的な視点も交えて見つめ直すとともに、作品を見るだけでなく、子どもも大人もともに参加し体験しながら楽しめる内容になりました。

いま、美術館は、社会課題の解決や地域活性化などの役割も期待されています。ちひろ美術館でも、年齢や国籍、ハンディキャップの有無などに関わらず、だれもが楽しめる普及プログラムを行い、これまで参加が難しかった人たちにも楽しんでいただくことができました。

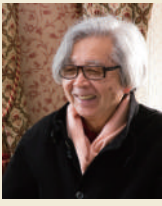
今年（2025年）は、ヒロシマ・ナガサキを経てあの戦争が終結してから80年経ちますが、いまもなお、世界各地で紛争・戦争は終わりが見えず、特に子どもをめぐる悲惨な状況は増すばかりで、心が痛みます。

ちひろさんが遺した「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」という思いを、その作品とともに、多くの方に伝えていくことは、私たちの役割だと考え、真剣に取り組んでいきたいと思っています。

どうかこれからも、ちひろ美術館、財団へのご支援を、よろしくお願いいたします。

公益財団法人
いわさきちひろ記念事業団
理事長

山田洋次



ちひろ美術館（東京・安曇野）
館長

玉柳純子



<他館と提携する展覧会>

ちひろ没後50年特別企画

ピエゾグラフによるいわさきちひろ展 一子を見つめてー

■9月14日～10月20日 ミツカンミュージアム（愛知県半田市）

いわさきちひろピエゾグラフ展

■①3月15日～6月3日 ■②6月15日～9月2日

■③9月14日～12月2日 ■④12月13日～2025年3月3日

越前市武生「ちひろの生まれた家」記念館（福井県越前市）

3. 作品・資料の収集、保存、並びに、調査、研究

2024年は、いわさきちひろの作品39点（返却）、遺品1点（寄贈）、西巻茅子のリトグラフ23点（購入）を新規に収集しました。

・いわさきちひろ 9,693点
・世界の絵本画家 世界35の国と地域 18,346点
227人のアーティスト
合計28,039点（2025年3月31日現在。寄託作品含む）

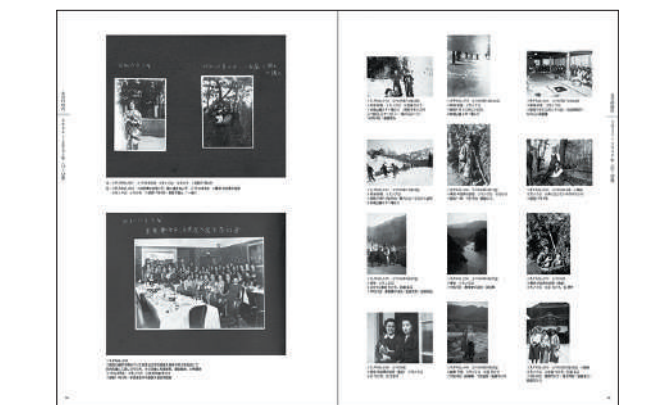


いわさきちひろ「きょうはたのしいようちえん」



西巻茅子「ボタンのくに」より

いわさきちひろの没後50年を機に、5,000点以上にのぼるちひろの写真資料の全点を整理し、画像データベースに登録しました。また、これまでの研究成果と合わせて、約2,200点の写真を掲載した『いわさきちひろ写真資料目録』を完成させました。



4. 教育活動

4月13日・11月19日

あかちゃんと保護者のための鑑賞会（安曇野館） ⑦

4月21日

「あれ これ いのち展」関連
お話と対話の集い「絵でつなぐ自然の共生」（東京館・オンライン・オンデマンド配信）

8月3日・8月10日～8月13日

「みんな なかまよ展」関連
松川中学生ボランティア 平和を考えるワークショップ
監修：塩瀬隆之（安曇野館） ⑧

9月14日

ちひろの絵による「窓ぎわのトットちゃん」ワークショップ
青空トモエ学園「田んぼの教室」（安曇野ちひろ公園） ⑨

9月27日

大町南小学校「共生の庭」の観察（安曇野館） ⑩

9月28日

「あ・そ・ぼ展」関連
森口佑介講演会「ちひろの絵からみる子どもの発達」
（東京館・オンライン・オンデマンド配信）

9月29日

「あれ これ いのち展」関連
鷺谷いづみ講演会「安曇野まつかわ村の野と水辺」
（松川村図書館との共催 松川村・すずの音ホール）

11月21日

アートリップ アートの旅
（認知症の方に向けた対話型アート鑑賞プログラム）
（東京館） ⑪

11月30日

「みんな なかまよ展」関連ワークショップ
紙の葉っぱをつくらうwith「みんな なかまよ展」
講師：塩瀬隆之・佐藤路（東京館）

12月15日

「みんな なかまよ展」関連
plapla アーティストトーク「いわさきちひろの魅力と秘密」
（東京館・オンライン・オンデマンド配信） ⑫



5. 普及活動

読み聞かせ会

絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、定期的に絵本のじかん（絵本の読み聞かせ）を開催しました。 東京館 全21回/安曇野館 全17回

複製画展

2025年1月2日～1月26日 国営アルプスあづみの公園
堀金・穂高地区（長野県安曇野市）

ちひろの平和のパネル展

5月1日～5月4日 野崎観音会館（大阪府大東市）

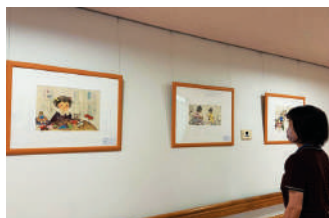
8月1日～8月22日 茂原市立図書館（千葉県茂原市）

9月13日～9月29日 世田谷区立平和資料館（東京都世田谷区）

10月18日～11月20日 港区立麻布図書館（東京都港区）

病院との連携活動

来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設けました。



長野県立こども病院



東京女子医科大学病院

6. 国際交流

7月25日～8月13日
インドネシアのバンドゥン
のギャラリーにおいて、国際交流基金ジャカルタ日本文化センター、Yayasan Cita Cerita Anak (TaCita)との共催で、「絵本：日本の子どもの本の物語と美術への旅」展を開催しました。



7. 支援活動

様々なニーズを持つ来館者の展覧会鑑賞を支援するためのバリアフリー化を進めました。東京館では、最寄り駅から美術館までの道順を音声で案内するアプリ連動マップを作成、登録しました。



アプリ連動マップ

8. その他

■2024年度刊行の書籍

『ちひろの子どもたち ハッピータイム』

CHIHIRO' S CHILDREN Happy Time』

いわさきちひろ著・

ちひろ美術館監修

グラフィック社



■2024年支援会員の日

11月10日、支援会員制度の報告会を東京館、安曇野館、そしてオンライン参加者をインターネットでつなぎ、ハイブリッドで開催しました。2023年度の活動報告と松本猛からのビデオメッセージの他、ちひろクイズなどでオンラインで参加のみなさまと会場をつないで交流しました。

■支援会員の状況（2024年4月1日～2025年3月31日）

会員数 702名（新規152名・継続550名）

支援会費（寄付金） 7,136,166円

*参考データ：2023年度 6,323,837円
658名（新規122名・継続536名）

■支援会費の使途

絵本原画の収集・保存・研究・展示公開、絵本の普及、国内外での絵本文化支援の活動等に充当させていただきました。

■公益財団法人いわさきちひろ記念事業団は、次のような目的をもって活動しています。

子どものしあわせと平和を願いつづけた絵本画家いわさきちひろの業績を記念し、文化の民主的多面的発展に寄与する活動をおこなう。
散逸しやすい絵本の原画を人類の文化遺産と位置づけ、絵本芸術等に関する資料を収集・保管・展示して教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業をおこなひ、あわせて、これら資料に関する調査研究をおこなう。
（「公益財団法人いわさきちひろ記念事業団定款」より抜粋）

■支援会員の輪を広げてください。

ちひろ美術館の支援会員制度について、ぜひお問い合わせください。詳しいご案内やチラシをご希望の方は、希望部数と送付先（お名前、ご住所、電話番号）をお知らせください。

申し込み先：
ちひろ美術館・東京 支援会員制度担当
〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2
TEL：(03)3995-0612 FAX：(03)3995-0680
E-MAIL：shienkai@chihiro.jp

・「支援会員制度」はクレジット
決済による入会が可能です。
https://chihiro.jp/foundation/donation/
※クレジット決済は外部サイト Syncable に遷移します。



■寄付者一覧 2024年4月1日～2025年3月31日にご寄付くださった方の中から、これまでに名前のお公表をご許可いただいているみなさまをご紹介します（敬称略・五十音順）。

相澤裕子 青江純子 青木久男 赤枝隆 赤澤香恵 赤羽大四郎 足立委子 足立史子 阿部圭子 阿部敏見 雨根涼子 天野和義 安藤優子 池田春子 池呂佳己 石井達也 石川寛治 石津ちひろ 石原民子 井田登史子 飯倉明子 井土都貴子 伊藤昭彦 伊藤幸一 伊藤早苗 伊藤澄子 伊藤美智子 伊藤利香 井ノ田素子 桶田道彦 井上雅貴 井之浦一子 今村智宏 岩田和恵 上坂朋子 植田浩二 上田康子 上野誠治 上野り子 牛越徹 宇田淳子 内田市五郎 内田伸二 榎本裕一 遠藤康弘 及川千鶴枝 遠田純子 大賀泰三 大崎あけみ 大島和枝 大谷進 大橋愛子 岡百代 岡田早智子 岡部英代子 奥村俊博 尾崎由美子 小田悦子 小野瀬一 折戸裕子 海澤幸代 柿内公子 柿澤由香 垣東広美 柏いつ 片倉敬彦 加藤信子 加藤麻弥 加藤裕美子 金子治代 金子眞理子 鎌谷雄樹 河合文子 河田茜 川田和子 河野のり子 川瀬弘子 川人博 川原信子 菊田哲 菊地謙子 菊池恵恵 菊地勝幸 菊地淳一 菊地剛 菊地睦男 坂田佳美 岩ともし 櫻井肇 櫻井理恵 佐治千里 定金誠一郎 佐多和子 佐藤昭彦 佐藤勝美 佐藤和弘 佐藤忠一 佐藤博子 佐藤博子 佐伯智子 佐伯めぐみ 境英美 坂口睦男 澤太朗 澤良世 澤田亜木 澤田吉子 椎木郁子 信太明男 島田妙子 清水信江 志村立矢 白石ふさ 白川光雄 城畑孝康 陣野澄子 神保和子 杉岡尚子 鈴木真寿子 鈴木誠 鈴木美弥子 砂川美江 関川友美 芹沢野 曾我克美 十亀有紀 田井晴彦 高木朝彦 高城博道 高野恵子 高橋文子 高橋節子 高橋俊文 高橋博之 高橋良明 高橋千洋 瀧口恵子 瀧澤智樹 瀧下弘美 武井一二三 武川雅和 武田登志子 武田正 瀧脇文雄 古川正巳 星祐樹 星加敏子 星野宏子 星谷昌彦 榎科 本間久幸 前田直美 田丸尚美 田村博康 田村裕子 近松美喜子 野井明子 坪田慶子 鶴見雄二 手塚公久 手塚洋子 寺本英子 といしげ 榎本孝夫 島羽敬二 富田雅子 豊仲明子 島山玲 永井愛 中川愛 中川あけ子 中川薫 中沢まみ 中島啓幸 中島正巳 永島京江 中谷至孝 中野和朗 中西時夫 中飯澄子 中村加津雄 中村取 中村かよ子 中村俊作 中村紀寿 中村由美 中村陽子 那須野郎子 夏岡美保子 西尾路子 西尾泰宏 西野敬典 西村修 仁術琢磨 野崎五郎 野村曉美 芳賀勝子 橋村孝子 長谷川久子 品山隆司 八島真由美 花谷直樹 早瀬紀子 原田聖子 樋口道夫 菱岡由子子 平山公洋 平山玲里 広瀬紀子 福林幸代 藤代誠一 藤本純子 藤本正 瀧脇文雄 古川正巳 星祐樹 星加敏子 星野宏子 星谷昌彦 榎科 本間久幸 前田直美 樋下弘三 益川三子 益子良一 松浦泰三 松本昭 松田和子 松本いずみ 松本恭子 松本繁 松本ちひろ 松本文子 丸山鈞 水野孝治 筑田隆 宮澤民子 宮澤大介 宮澤孝昇 宮下和也 宮本直幸 ミラー美幸 村上和子 村上謙 村上弘治 村上耕平 村上妙子 村松敏夫 森義行 森島仁 森本智 森山豊 矢田美江 山口嘉代子 山口剛 山口智徳 山口文枝 山口恵 山下和子 山下吉彦 山下裕樹 山田久夫 山寺ちひろ 山本滋子 山本たまき 山本正徳 澤澤藤 横川浩子 吉井芳子 吉江眞理子 吉岡正俊 吉岡達也 吉川聡子 吉田勝彦 吉田理恵子 中山美保 植氣美樹 渡辺妙子 渡辺友範 渡辺春菜 渡辺幸恵 渡部恵子 渡部浩子

この一年間、公益財団法人いわさきちひろ記念事業団、ちひろ美術館の支援会員として、私たちの活動を支えてくださり、ありがとうございます。